

「通所支援事業」

7月と8月は 通所支援事業も夏休み?!



通所支援事業は、「生活介護」と「児童発達支援」「日帰り短期入所」という事業を行っています。「生活介護」は、常に介護を必要とする方に対して、主に昼間、入浴・排せつ・食事等の介護、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動の機会（療育活動）の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行っています。自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的として、障害のある方の社会参加と福祉の増進を支援します。

「児童発達支援事業」は、障害のある就学前の子どもに対し、身体的・精神的機能の発達を促し、日常生活及び社会生活を円滑に過ごすため、それぞれの障害の特性に応じた福祉的、心理的、教育的及び医療的な支援を行います。具体的には、障害のある子どものニーズに応じて、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」および「地域支援」を総合的に提供します。

さらに、学校に在籍している子どもたちの夏休みを過ごす場所の1つとして、「日帰り短期入所」も行っていきます。なので、7月と8月の通所支援事業は、いつも利用している方々と長期休み(夏休み)に利用してくれている方々が一緒に過ごすので、とっても賑やかです。お互い「見たことあるなあ〜」「この人だれ?」「お友だちになりたいなあ」等といった表情でお互いにちらちら見合ったり、手をそお〜と伸ばしたり、ジーッと不思議そうに見たり、ゴロゴロと近寄って行ったりしています。その姿がとても新鮮で、通所支援の職員も思わず笑ってしまうことも…。

三重病院の通所支援事業は、毎日いろいろな利用者さんが来て下さいます。日々違った雰囲気の中で開催しています。ぜひ一度利用してみてくださいね♪

(主任児童指導員 丸澤 由美子)

5病棟の生活のひとコマ 41

9月の誕生会は、コーラス「てらやま」の皆さんに「ドレミの歌」「東京ラプソディー」「きよしのズンドコ節」等、病棟の患者さんも知っている曲をたくさん歌っていただきました。患者さんたちは、一緒に歌ったり、手をたたいたり、身体を揺らしたりして楽しい時間を過ごしました。

(児童指導員 筒井 皓太)



やまばとギャラリー information 情報コーナー

今月のテーマはハロウィンです。患者さんと、トイレトペーパーの芯と包装紙で「ジャックオーランタン」を作りました。どれも様々な表情で、個性豊かな作品に仕上がりました。やまばとギャラリーで楽しいハロウィンのひとときを過ごしてみませんか? (児童指導員 筒井 皓太)

